

みずほCustomer Desk Report 2022/03/15号(As of 2022/03/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	117.59 AUD/USD
TKY 9:00AM	117.53	1.0933	128.43	1.3044	0.7296
SYD-NY High	118.21	1.0994	129.70	1.3078	0.7303
SYD-NY Low	117.30	1.0900	128.09	1.3001	0.7186
NY 5:00 PM	118.20	1.0940	129.29	1.3002	0.7186

NY DOW	32,945.24	1.05	日本2年債	-0.0300	1.00bp
NASDAQ	12,581.22	▲ 262.59	日本10年債	0.1900	1.00bp
S&P	4,173.11	▲ 31.20	米国2年債	1.8640	11.90bp
日経平均	25,307.85	145.07	米国5年債	2.0958	14.70bp
TOPIX	1,812.28	12.74	米国10年債	2.1410	14.49bp
シカゴ日経先物	25,095.00	125.00	独10年債	0.3700	10.30bp
ロンドンFT	7,193.47	37.83	英10年債	1.5955	10.35bp
DAX	13,929.11	301.00	豪10年債	2.4240	2.80bp
ハンセン指数	19,531.66	▲ 1,022.13	USDJPY 1M Vol	7.90	0.66%
上海総合	3,223.53	▲ 86.21	USDJPY 3M Vol	7.58	0.45%
NY金	1,960.80	▲ 24.20	USDJPY 6M Vol	7.63	0.32%
WTI	103.01	▲ 6.32	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	288.453	▲ 6.65	EURJPY 3M Vol	10.95	0.13%
ドルインデックス	99.00	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	10.40	0.09%

東京	東京時間のドル円は117.53レベルでオープン。前週末からのドル買いの流れを引き継ぎ上値を試す展開。FOMCを目前に控えている中で期待感先行か米金利の堅調推移もサポートとなり、一時117.88と2017年1月ぶりの高値を更新。もっとも、118円の節目を前に売りに押され、117.79レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は117.79レベルでオープン。東京時間からの円売りの流れが継続し、118円を突破して一時118.06まで上昇し、117.95レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週末もロシアのウクライナに対する攻撃が激化しドルが買われる一方、両国の協議の頻度が増えていることから話し合いが進んでいるとの見方にリスク回避の動きが後退し、円売りも強まり、海外市場で2017年1月以来に118円台に乗せ、118.06まで上昇したドル円は、117.95レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されておらず、FOMC結果発表を水曜に控え、Fed要人発言も伝わらないことから朝方は狭いレンジでの推移が続く。水曜の東部時間朝9時にバーチャルでウクライナ大統領が米議会で話すことが発表され、その後もウクライナとロシアの公式な協議も明日まで休止されることが発表されたが為替市場の反応は見られず、ドル円は118円丁度付近での推移が続く。午後はイスラエル首相とプーチン大統領が電話で1時間半に及ぶ会談があったと報じられ、停戦が意識されたのか終盤に掛けて先物に見る利上げの織り込み度が年7回まで上昇し、米2年債金利も1.86%台まで上昇する中、ドル買いに118.21まで上昇し、118.20レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場で1.0901まで下落したが、その後はリスク回避の動きが後退し1.0989まで戻し、1.0943レベルでNYオープン。朝方は方向感のない推移が続くが、欧州株式が堅調に推移し、米株式市場もプラス圏で推移する展開に1.0994まで戻す。午後は、米金利上昇を受けたドル買いにユーロは上値を切り下げ、1.0940レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・小林

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月15日	09:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	4Q 3.5%/21.9%	5%/21.7%
3月15日	19:00	独 ZEW景気指数 期待/現状	3月 5/-22.5	54.3/-8.1
3月15日	19:00	欧 ZEW景気期待指数	3月 -	48.6
3月15日	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 0.0%	1.2%
3月15日	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	3月 6.1	3.1
3月15日	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.9%/10%	1%/9.7%

【ドル円相場】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	117.80-118.80	1.0850-1.1100	128.50-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は続伸。ロシアとウクライナは4回目となる停戦交渉を行ったものの、新たな動きは発表されなかった。一方、米中外相級会談もあって今後ロシアが態度を軟化させるのではないかと期待感にリスク回避の動きの巻き戻しが入り、ドル売り・円売り優勢の展開に。米短期金利市場が本日から開始される米FOMCを前に年内7回の利上げを織り込みに行く動きに、米金利も各年限で大きく上昇し、ドル円はこの流れを受け118.21円まで上昇。本日のドル円は引き続き堅調な推移を予想する。15-16日に開催される米FOMCを前に様子見姿勢が強まってくと予想されるも、日米の金融政策の違いを意識したドル高地合いは継続すると予想する。また、本日は5・10日でもあるので実需のドル買いも相応に入ると予想される。

【対円騰落率(日次)】

